

生成AI

映像制作に使えそう？



昨今目覚ましい成長を続ける生成AI界隈

生成AI（で作った映像）で制作されたCM・MV、はたまた生成AIを活用した映像コンサルティング・制作事業が立ち上がるなど、盛り上がっている生成AI界隈。本格的に動画制作に活かせる時期に来たのかどうか試してみました。とりあえず無料で(笑)



マックや伊藤園が
CMに『ai動画』起用

[あの"マクドナルド"がWeb CMに『ai動画』
を起用。ai広告時代の幕開けか](#)

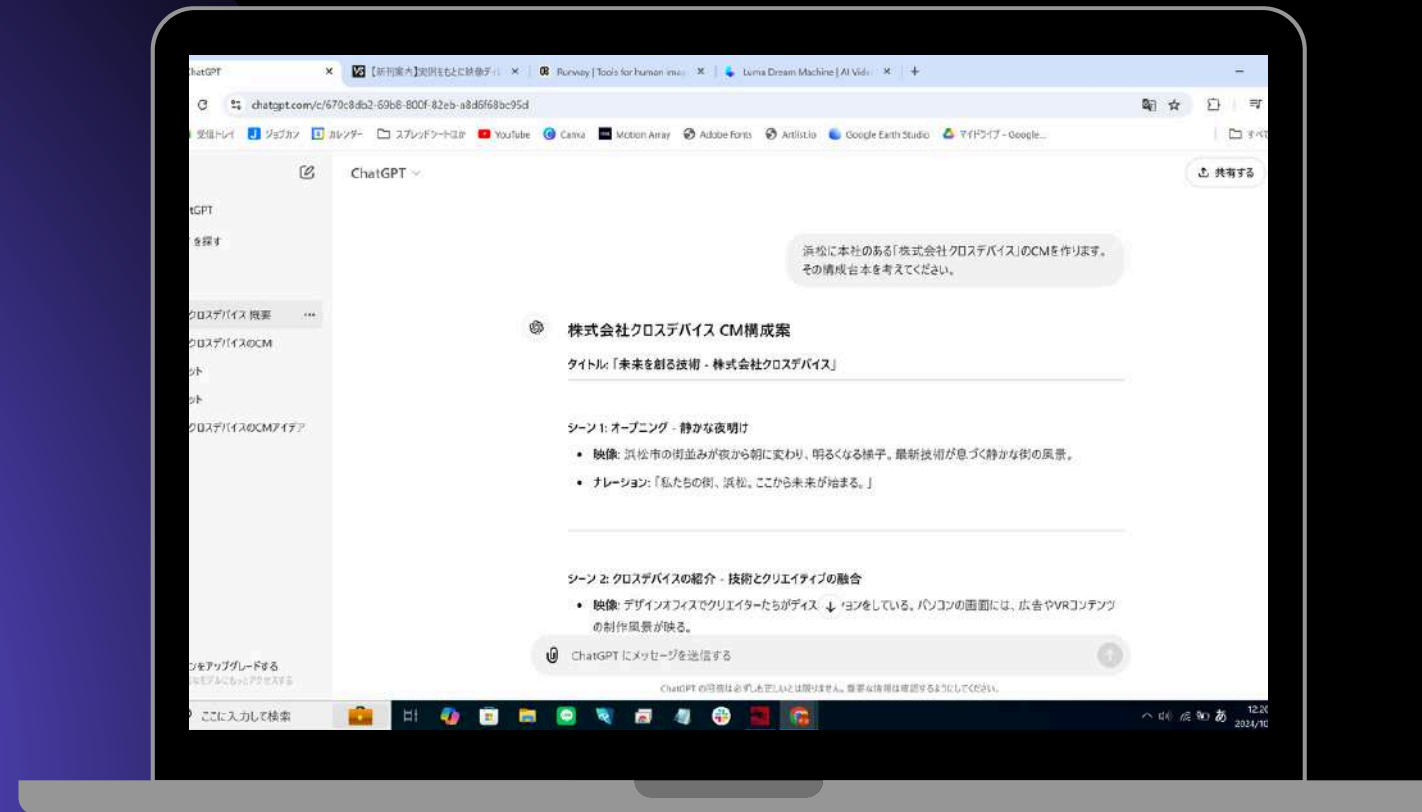
動画生成AI「Sora」
で制作されたMV

[OpenAIの動画生成AI「Sora」で制作さ
れたMVが公開](#)

生成AI映像コンサルテ
ィング・制作事業

[生成AIを活用した新たな映像コンサルティン
グ・制作事業「PYRAMID AI」を開始 | ピラミ
ッドフィルム](#)

生成AIで映像を作るワークフロー



①脚本を生成する。

今回は「株式会社クロスデバイス」のCMを作ることにした。まずは『[ChatGPT](#)』で脚本・構成を生成してみる。

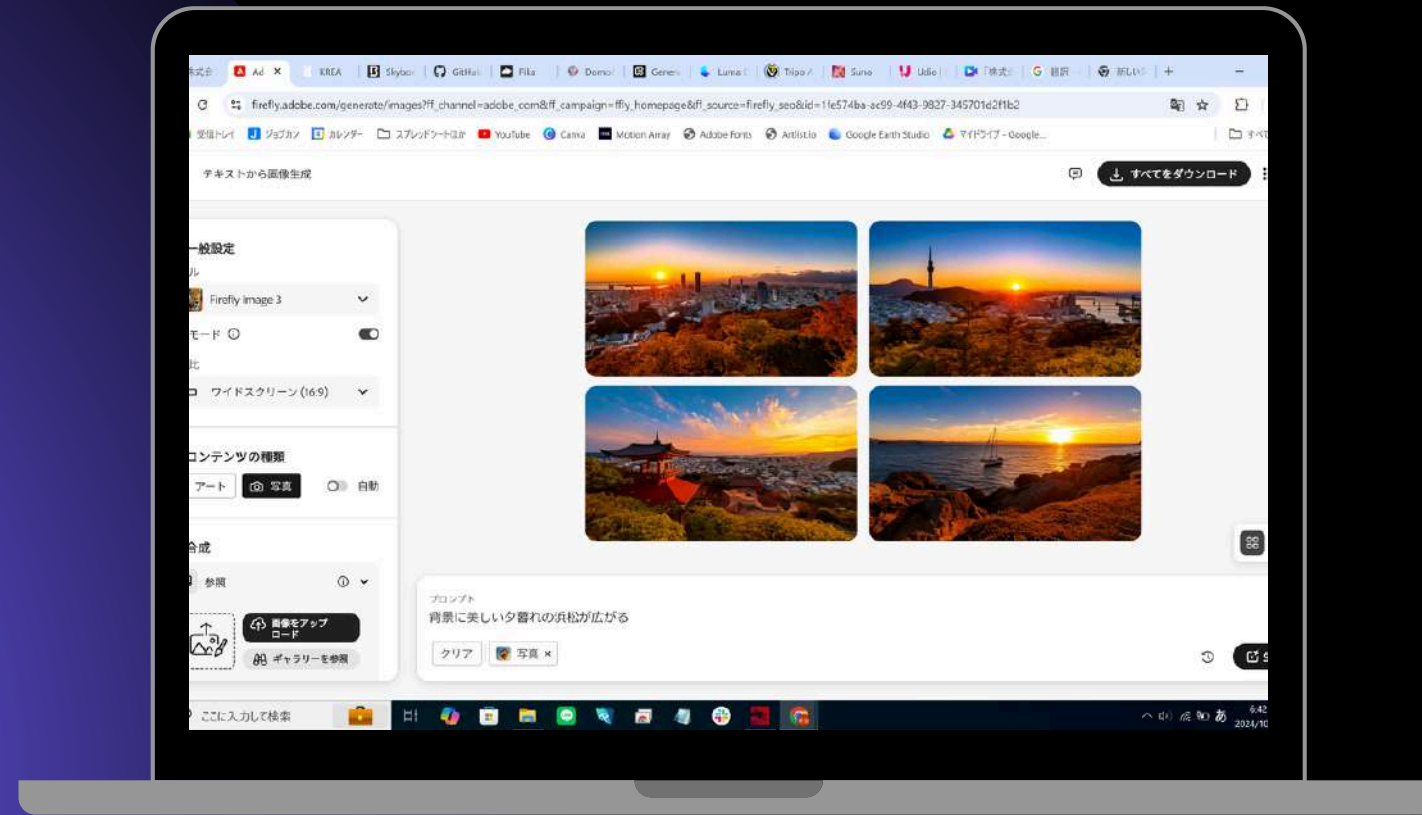
01 Chat GPT

浜松に本社のある「株式会社クロスデバイス」のCMを作ります。その構成台本を考えてください。などと質問すると...

02 生成された構成をもとに製作を進めることにする

- 株式会社クロスデバイス CM構成案
- タイトル: 「未来を創る技術 - 株式会社クロスデバイス」
- シーン1: オープニング - 静かな夜明け
- 映像: 浜松市の街並みが夜から朝に変わり、明るくなる様子。最新技術が息づく静かな街の風景。
- ナレーション: 「私たちの街、浜松。ここから未来が始まる。」
- シーン2: クロスデバイスの紹介 - 技術とクリエイティブの融合
- 映像: デザインオフィスでクリエイターたちがディスカッションをしている。パソコンの画面には、広告やVRコンテンツの制作風景が映る。
- ナレーション: 「私たち、株式会社クロスデバイスは、広告制作と最先端のVR技術を融合し、クライアントの想いをカタチにします。」
- シーン3: VRソリューションの紹介
- 映像: VRヘッドセットを装着して、360°パノラマ映像を楽しむ人々の様子や、idoga VRシステムを使ったイベントシーン、企業での活用事例。
- ナレーション: 「VR映像制作、360度体験、最先端のXR技術。ビジネスを次のレベルへと引き上げるソリューションを提供します。」
- シーン4: EC事業 - 新しい体験を提供
- 映像: VRグラスを着けた子どもたちが、バーチャル空間で冒険している様子。ECサイトの利用風景も映し出され、簡単に購入できる様子。
- ナレーション: 「VR関連商品の販売も手掛け、誰もが手軽に最先端の技術を体験できる環境を作り出しています。」
- シーン5: クロスデバイスのビジョン - 未来を見据えて
- 映像: ドローンでの空撮が流れ、浜松の自然からグローバルに広がる技術の象徴として、世界地図や国際的なプロジェクトのビジュアルに切り替わる。
- ナレーション: 「私たちは、地域から世界へ。未来を見据え、技術とクリエイティブで新たな価値を提供します。」
- シーン6: クロージング - 株式会社クロスデバイスのロゴとメッセージ
- 映像: クロスデバイスのロゴが画面中央に浮かび上がり、背後に美しい浜松の夕暮れが広がる。
- ナレーション: 「株式会社クロスデバイス。未来を創る、私たちとともに。」
- 音楽: 未来的で静かなピアノのメロディが始まり、終盤にはオーケストラで壮大に盛り上がる。
- この構成では、株式会社クロスデバイスの「クリエイティブ」と「テクノロジー」の強みを前面に押し出し、視聴者に同社の先進的なイメージを与えることを目指しています。

生成AIで映像を作るワークフロー



②脚本をもとに 画像を生成する。

画像生成AIは数多にあるが今回は手近なところで『[Adobe Firefly](#)』を主に使用しました。

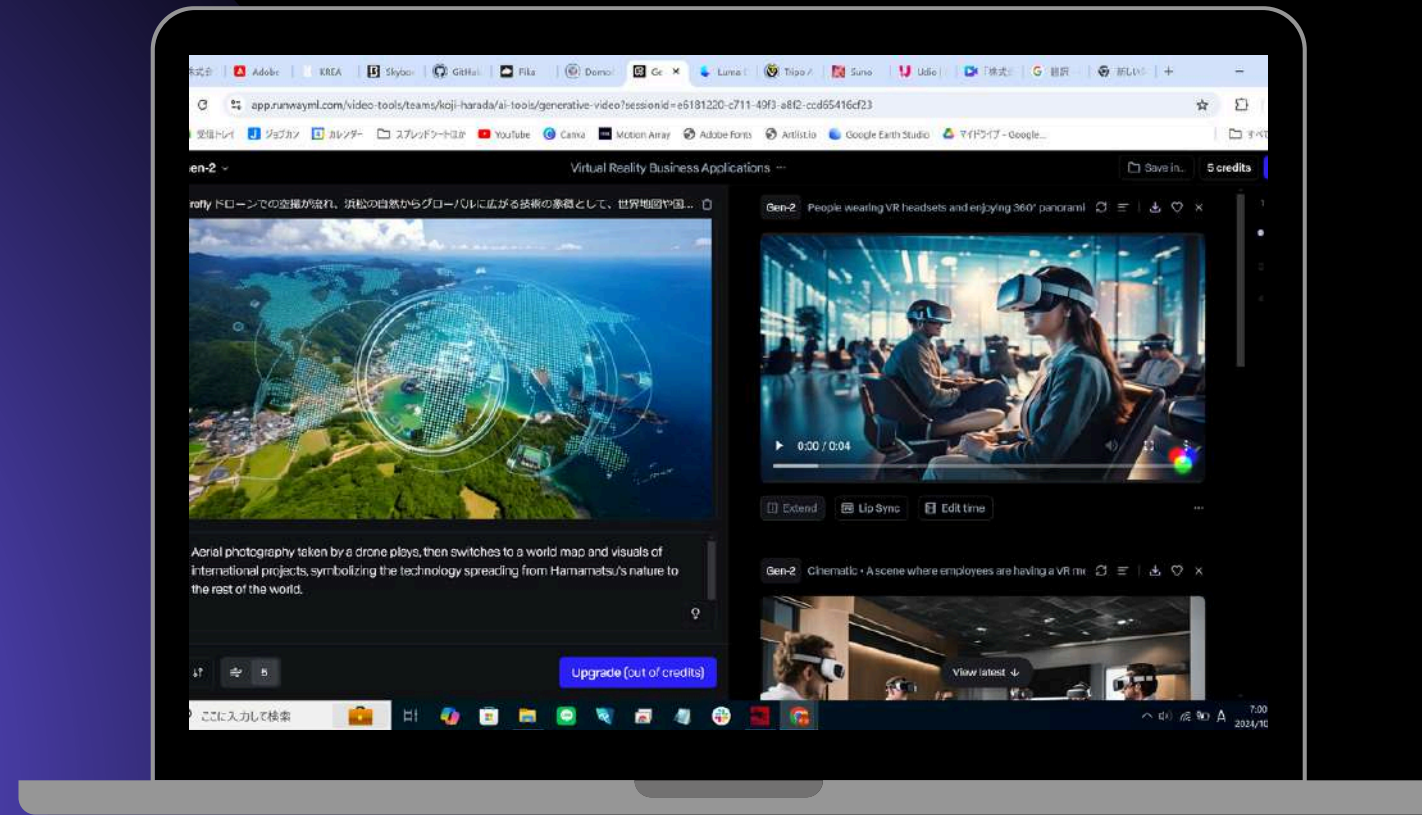
03 画像生成AI

画像生成AIの有名処では『Midjourney』や『Leonardo AI』あたりもオススメだろうか。生成AI初心者なので、無料で制限の少ない『Adobe Firefly』をメイン使用しました。

04 生成した画像をもとに動画を生成するのがセオリー

どうやら最近の動画生成AIは画像から動画を生成する機能が優秀らしく、一からプロンプトを打ち込んで動画を生成するよりも、当初のイメージから逸脱しないなどのメリットがあるようだ。

生成AIで映像を作るワークフロー



③生成画像をもとに動画を生成する。

動画生成AIも数多にあるが、今回は諸事情あって『Runway』を主に使用しました。

05 動画生成AI

動画生成AIの有名処では『Pika』や『Luma Dream Machine』あたりも評判が良い。無料プランで使用するため、生成された動画のウォーターマークの位置や大きさを考慮して『Runway』をメインに使用しました。

06 無料プランだからなのか、動画生成に四苦八苦

無料プラン故なのか、昨今の生成AI熱が盛り上がり過ぎているからなのか...
いざ動画生成をスタートすると、異様に時間が掛かり過ぎたり、込み合っているので（有料プラン者を優先するので）時間をあけて再スタートを強制されるなど、思うように動画生成が進まなかった。※そのなかで比較的対応が早かったのが『Runway』結果、今回は全てを動画にすることは断念。

生成AIで映像を作るワークフロー



④動画を編集する。

生成された素材を『Adobe PremierePro』などで動画編集する。

※このほか音声・音楽生成AIも使用しました。

07 動画を編集

脚本構成を基に生成した素材を並べていく。※この過程前に『音読さん』などのAIナレーターでナレーションも生成しました。

08 動画を編集②

童画の総尺が決まったところで、最後に音楽生成AIを使ってBGMを作成した。以外にもこれが一番難航した。イメージに合う曲をプロンプトで生成するのは経験を積む必要がありそうだ。主に使用したのは『Suno』『Udio』などの有名処。

「株式会社クロスデバイス」のCM～生成AIで制作した～ 完成

AI can automate the process of vulnerability scanning and assessment, identifying weaknesses in systems and applications before they can be exploited.

所要時間：約4時間

今回は生成AI初心者が色々と調べながら試行錯誤しながら半日稼働で一応のカタチにできた。クライアントに台本の文字画像だけではイメージを伝えきれない場合等にこういった生成AIを活用した映像を制作するのは有りかと思います。

生成された素材のクオリティ

無料プランであることや、さわりだけしか機能をしない等あれど、CMやMVで世に騒がれるほどの映像にはならなかった。※また、生成する内容が企業のCMなので、一般に生成AIで想起される奇想天外な映像にはならないかも。

生成AIは面白いです

今回しようした生成AIツールの他にも、360°画像を生成するAIだとか、2Dから3Dモデルを生成するAIなど、生成AI界限は今もすごい勢いで進化しています。映像制作の現場に生成AIが不可欠になる未来はそう遠くなさそうです。日々の業務に活かせる部分も多々ありそうなので、個人的に今後も勉強していきたいと思います。



最後に、生成AIツールはプランによって商用利用などの制限がありますので、必ずプラント内容を確認して正しく使いましょう。